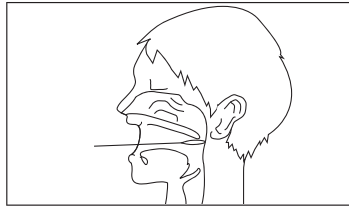


イムノエース[®] マイコプラズマ 操作方法

株式会社 **タウンズ**
お問い合わせ先 ☎0120-048-489

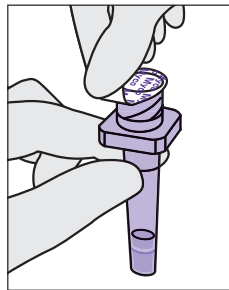
■ 検体採取

咽頭ぬぐい液

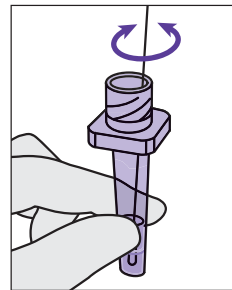


キット付属のスワブを口腔から咽頭にしっかり挿入し、咽頭後壁、口蓋扁桃を中心に数回こするようにして粘膜表皮を採取します。
採取時はだ液に触れないように注意してください。
検体にだ液が混入するとラインが薄くなる場合があります。

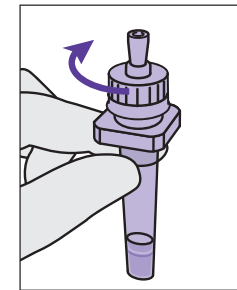
■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

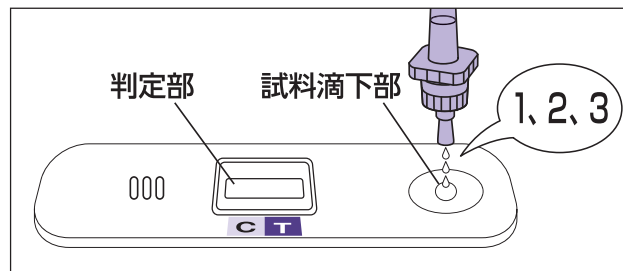


検体採取後のスワブを検体抽出液に浸し、容器の外側からスワブの頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。
抽出後、容器の外側からスワブの頭部をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

■ 試料滴下



検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します。

⚠ 注意
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡に関わらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは色分けにより区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ 抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。このような場合は、新しい検体抽出液1本に対して試料を3滴滴下し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑤ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び／又は[T]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。

■ 判 定

5~15分



陽性

15分



陰性